

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/08/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 中国経済リスクで調整売り優勢に

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台中盤まで軟化した。前週は国際原油需給のひっ迫見通しを背景に84.89ドルまで値上がりしていたが、中国経済の減速懸念を織り込む形で調整売り優勢の展開になり、一時78.95ドルまで下落している。米金利上昇傾向が続いていることもネガティブ材料視された。米原油在庫の取り崩しは続いているが、あまり材料視されなかった。ただし、週末かけては安値修正の動きがみられ、80ドル台を回復した。

8月15日に中国の7月経済指標の発表が集中したが、景気減速懸念を一段と高める結果になった。固定資産投資は前年比3.4%増（前月は3.8%増）、鉱工業生産は3.7%増（同4.4%増）、小売売上高は2.5%増（同3.1%増）となっている。いずれも予想を上回るペースで中国経済が減速していることを示している。従来から非鉄金属相場の上値の重さが目立っていたが、過熱感の強くなっていた原油相場も中国経済の減速懸念から調整売り優勢の展開になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月11日時点）は、原油が前週比596万バレル減、ガソリンが26万バレル減、石油精製品が30万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需給ひっ迫見通しで押し目買い優勢、中国リスクには要注意

需給ひっ迫見通しが維持される中、押し目買い優勢の展開が維持される見通し。今年5～6月にかけては中国経済の減速懸念を背景に70ドル水準で上値を抑えられる展開になっていたが、改めて値を崩す必要性は乏しい。中国経済の減速を前提にしても、7～9月期はサウジアラビアとロシアの自主的な供給削減策の影響もあり、世界的な在庫減少圧力が想定されている。中国の需要不安で80ドル台を割り込むような局面では、物色妙味が維持される見通し。

米原油在庫の減少傾向は続いており、1月6日以来の低水準になっている。このまま在庫減少傾向が維持されると、需給ひっ迫見通しを背景とした買いに安心感が強まろう。原油需給関連では大きなイベントは予定されていないため、在庫減少からの買いフローがみられるかが焦点になる。

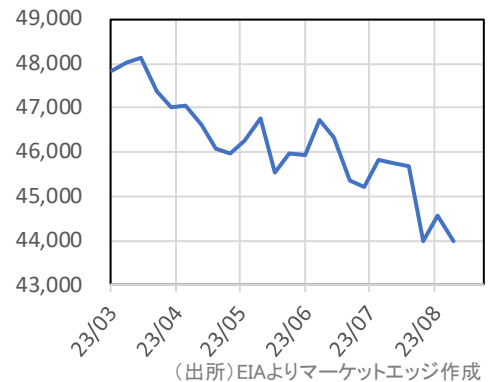
前週は中国経済の減速懸念が改めて原油相場の上値を圧迫したため、中国関連リスクに対しては引き続き注意が求められる。8月17日には中国不動産大手の中国恒大集団が米連邦破産法15条の適用を申請した。不動産などで運用する信託商品の償還リスクが表面化している。金融市場にも動揺が走ると、原油市場でも投資家の資金引き揚げが促される可能性がある。8月24～26日にジャクソンホール経済フォーラムが開催されるため、米金利・ドル・株価の動向にも注目したい。特に米金利上昇傾向が続くか否かは重要である。

一方、中国では共産党指導部が重要事項を話し合う北戴河会議が終了した模様であり、マーケットでは近く大規模な景気対策が打ち出されるのではないかと観測が強くなっている。非鉄金属相場も下げ一服となっており、景気対策が具体化すると、買い安心感が強まりやすくなる。

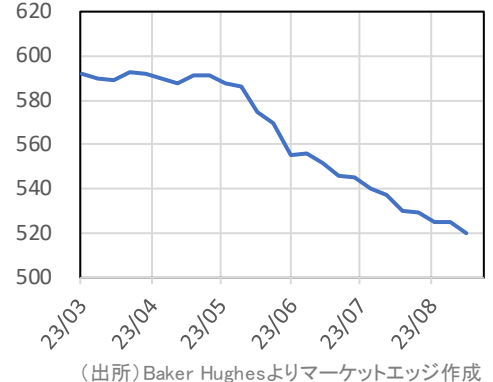
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

